

3月8日 四旬節第3主日

神の知恵

ヨハネによる福音書 2章 13～25節

¹³ユダヤ人の過越祭が近づいたので、イエスはエルサレムへ上って行かれた。¹⁴そして、神殿の境内で牛や羊や鳩を売っている者たちと、座って両替をしている者たちを御覧になった。¹⁵イエスは縄で鞭を作り、羊や牛をすべて境内から追い出し、両替人の金をまき散らし、その台を倒し、¹⁶鳩を売る者たちに言われた。「このような物はここから運び出せ。わたしの父の家を商売の家としてはならない。」¹⁷弟子たちは、「あなたの家を思う熱意がわたしを食い尽くす」と書いてあるのを思い出した。¹⁸ユダヤ人たちはイエスに、「あなたは、こんなことをするからには、どんなしるしをわたしたちに見せるつもりか」と言った。¹⁹イエスは答えて言われた。「この神殿を壊してみよ。三日で建て直してみせる。」²⁰それでユダヤ人たちは、「この神殿は建てるのに四十六年もかかったのに、あなたは三日で建て直すのか」と言った。²¹イエスの言われる神殿とは、御自分の体のことだったのである。²²イエスが死者の中から復活されたとき、弟子たちは、イエスがこう言われたのを思い出し、聖書とイエスの語られた言葉とを信じた。

²³イエスは過越祭の間エルサレムにおられたが、そのなさったしるしを見て、多くの人がイエスの名を信じた。²⁴しかし、イエス御自身は彼らを信用されなかった。それは、すべての人のことを知っておられ、²⁵人間についてだれからも証ししてもらう必要がなかったからである。イエスは、何が人間の心の中にあるかをよく知っておられたのである。

他の朗読：出エジプト 20:1～17 詩編 19:8～11 | コリント 1:22～25

Lectio …読む

今日の鍵となる質問は「何故我々はイエスを信じるべきなのか」です。福音記者ヨハネは、弟子たちを含む多くの人々が何故イエスを信じ、或いは信じるのを拒絶したのかを教えてください。

ユダヤ人は世界各地から、エルサレムの神殿にいけにえを捧げるためにやってきます。彼らは神殿の境内で、いけにえにするための動物を購入しました。しかしイエスは、その便利さの先に、商売をしている人たちの強欲な態度を見て取ったのです。彼らは神聖な場所を金儲けの場所に変えていたのです。

弟子たちは、イエスの神殿における行為は、神を思う熱意の故だと信じました。彼らは詩編 69 編 10 節の「あなたの神殿に対する熱情が／わたしを食い尽くしている」というみことばに照らされてイエスの言動を解釈し、イエスが神から来たと信じたのです。

しかし、ユダヤ教の権威者たちは、イエスの行動を非常に重大な攻撃とみなします。彼らは、イエスが神からのもので、神の権限を持っていることを証明する「しるし」を見せるようイエスに要求します。イエスは、その時の誰も理解できない預言をもって答えました。死者の中から復活するという預言です (19 節)。

この神秘的な預言は、弟子たちの心に深く残ります。彼らは、それを覚えていて、イエスが復活した時に預言がこのことを意味していたのだと理解しました。

一方、ユダヤ教の権威者たちは、イエスの言葉をあざけりました。言葉の奥に別の意味が隠されているなど、考えてもみないことだったのでした。

Meditatio …黙想する

マルコの物語（11章15～17節）は、この出来事を私たちが理解するために、どんな光を投げかけてくれていますか。

商人と神殿の権威者たちは、自分たちが誰に仕えているのかを見失っていた、あるいは誤解していたように思われます。私たちも同じような状態に陥らないように、どうやってそれを防いだらよいと思いますか。

ユダヤ教の権威者たちの態度と、イエスの弟子たちの態度を比較してみましょう。彼らはイエスの言葉と行動に対してどのような態度を示しましたか。このことから私たちは何を学ぶことが出来ますか。

Oratio …祈る

イエスは全てにおいて神を敬うことを望みました。この先の一週間、あなたが観るテレビ番組や、あなたが言うであろう冗談を考えてみて下さい。それらは、神を敬うものでしょうか。これからやって来る週の中で、変えるべき、と神が望まれている部分がないか、あなたに優しく示して下さいように、神に願いましょう。

Contemplatio …観想する

第一朗読の出エジプト記20章1～17節の中で、神はイスラエルの民のため、律法とも呼ばれる十戒をモーセにお与えになりました。イエスの行動は神を敬い、神の住まいを尊ぶという彼の望みを反映しています。今日の福音朗読は、イエスが多くの人にとって、今日に至るまでずっと神秘であり続けていることを表しています。

1コリント1章22、23節の中で、パウロが強調するのは次の点です。すなわち、ユダヤ人はしるしを求め、ギリシア人は知恵を探します。十字架にかけられたキリストは、ユダヤ人にはつまずかせもの、異邦人には愚かなものです。これらの言葉は、私たちが神ご自身を知るためには、信仰と謙虚な態度で神に近づかなければならない、ということをお出しさせてくれます。